

# 第1問 【鑑別】

- 夜間に急に興奮し、点滴を抜こうとする高齢患者。発熱あり。最も考えられる状態はどれか。
- 1. アルツハイマー型認知症
- 2. うつ病
- 3. せん妄
- 4. 正常老化

# 解説1

- 正解：3 せん妄
- 急性発症・日内変動・身体要因（発熱）があるためせん妄が最も考えられる。

## 第2問 【鑑別】

- 物忘れを訴えるが、意識は清明。ゆっくり進行している。考えられるのはどれか。
  - 1. せん妄
  - 2. 認知症
  - 3. 意識障害
  - 4. 薬物中毒

# 解説2

- 正解：2 認知症
- 慢性進行性で意識障害を伴わない点が特徴。

## 第3問 【原因】

- せん妄の原因として最も優先して確認するものはどれか。
- 1. 性格
- 2. 家族関係
- 3. 身体的異常
- 4. 年齢

# 解説3

- 正解：3 身体的異常
- 脱水・感染・低酸素などの身体要因の確認が最優先。

## 第4問 【対応】

- せん妄患者への対応で適切なのはどれか。
  - 1. 強く叱る
  - 2. 行動を制限する
  - 3. 安心できる声かけ
  - 4. 無視する

# 解説4

- 正解：3 安心できる声かけ
- 不安軽減と環境調整が基本。



## 第5問 【BPSD】

- 認知症患者の妄想への対応で最も適切なものはどれか。
- 1. 否定する
- 2. 訂正する
- 3. 共感する
- 4. 議論する

# 解説5

- 正解：3 共感する
- 妄想を否定せず感情に寄り添う。

## 第6問 【原因】

- 入院後にせん妄を起こしやすくする環境要因はどれか。
- 1. 個室管理
- 2. 時計・カレンダーがない
- 3. 面会制限の解除
- 4. 日中の活動促進

# 解説6

- 正解：2
- 時間や場所の見当識が低下し、せん妄の誘因となる。

## 第7問 【BPSD】

- 認知症患者が『財布を盗られた』と訴える。適切な対応はどれか。
- 1. 事実を説明する
- 2. 否定する
- 3. 共感し安心させる
- 4. 無視する

# 解説7

- 正解：3
- 盗られ妄想は否定せず感情への共感が重要。

## 第8問 【倫理】

- 認知症患者への身体拘束について正しいのはどれか。
- 1. 転倒予防のため原則必要
- 2. 看護師判断で実施できる
- 3. 原則禁止で最終手段
- 4. 家族同意のみで可能

# 解説8

- 正解：3
- 身体拘束は原則禁止であり、切迫性・非代替性・一時性が条件。



## 第9問 【対応】

- せん妄患者への声かけで最も適切なのはどれか。
- 1. 大きな声で注意する
- 2. 短くゆっくり話す
- 3. 矛盾点を指摘する
- 4. 複数人で一度に説明する

# 解説9

- 正解：2
- 理解しやすく安心感を与える関わりが重要。

# 第10問 【予防】

- せん妄予防として有効なのはどれか。
- 1. 昼夜を問わず安静
- 2. 水分摂取の促進
- 3. 不必要な点滴固定
- 4. 刺激を完全に遮断

# 解説10

- 正解：2
- 脱水予防と日中活動がせん妄予防に重要。
  -